

**生有研シンポジウム**  
**“生体分子間に働く相互作用解析法の現状と今後の可能性”**

日時：2019年12月16日(月) 12:50 - 17:25

場所：サントリーワールドリサーチセンター1階メインホール  
 〒619-0284 京都府相楽郡精華町精華台8-1-1

- 12:50-13:00 はじめに (サントリー生有研、島本啓子)
- 13:00-13:30 「蛋白質膜挿入促進因子MPlaseと抑制因子DAGによる膜物性変化」  
 野村 薫 (サントリー生有研)
- 13:30-14:10 「蛍光相関分光法とその応用法を用いたALS関連細胞内凝集体形成機構の解析」  
 北村 朗 (北大 先端生命科学研究院)
- 14:10-14:50 「動的核偏極法を用いる核磁気共鳴プローブの開発」  
 野中 洋 (京大院工)
- 14:50-15:10 休憩
- 15:10-15:50 「ESR法を用いた藍色細菌時計タンパク質間相互作用部位の同定と経時的構造変化の解析」  
 武藤 梨沙 (福岡大理)
- 15:50-16:30 「生体分子を制御する特異的リガンドの物理化学的探索と解析」  
 長門石 暁 (東大 医科学研)
- 16:30-17:20 「NMR相互作用解析による創薬アプローチ」  
 高橋 栄夫 (横浜市大院生命医科)
- 17:20-17:25 おわりに (サントリー生有研 所長、中西重忠)
- 17:25-17:40 休憩
- 17:40-20:00 懇親会 (表彰式) (2階 Blanc)

本シンポジウムは公開で行います。

有意義な質疑討論をして頂いた方にはBest Discussion賞をお贈りします。

積極的に議論に参加できる大学院生・若手研究者を30名程度募集します。

(人数が多い場合は、研究室ごとに人数を調整させて頂くことがあります。)

シンポジウム・懇親会とも参加は無料ですが、予めメールで申込みをお願いします。

宛先 [sympo@sunbor.or.jp](mailto:sympo@sunbor.or.jp) 【締切 2019年11月1日】

詳細は、サントリー生命科学財団ホームページをご覧ください。 <http://www.sunbor.or.jp/>